

第3学年東組 社会科学学習指導案

「坂出市の様子 ～みんなが住みやすいコンパクトシティ～」

学習指導者 網野 未来

1 学習指導要領に示された本単元にかかわる目標及び内容等

1 第3学年の目標

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 身近な地域や市区町村の地理的環境，地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子，地域の様子の移り変わりについて，人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに，調査活動，地図帳や各種の具体的資料を通して，必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連，意味を考える力，社会に見られる課題を把握して，その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力，考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について，主体的に学習の問題を解決しようとする態度や，よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに，思考や理解を通して，地域社会に対する誇りと愛情，地域社会の一員としての自覚を養う。

2 内容

(1) 身近な地域や市区町村（以下第2章第2節において「市」という。）の様子について，学習の問題を追究・解決する活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 身近な地域や自分たちの市の様子を大まかに理解すること。

(イ) 観察・調査したり地図などの資料で調べたりして，白地図などにまとめること。

イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ア) 都道府県内における市の位置，市の地形や土地利用，交通の広がり，市役所など主な公共施設の場所と働き，古くから残る建造物の分布などに着目して，身近な地域や市の様子を捉え，場所による違いを考え，表現すること。

2 メタ認知・教科に関する子供（35名）の実態

課題設定以前…授業の始めに，今日することを自分で考えていないと感じている。（14名）

授業の始めに，自分が分かっていることは何で，分かっていることは何かを考えていないと感じている。（14名）

課題解決中 …授業の途中で，自分の考えと比べながら友達のを聞いていないと感じている。（8名）
授業

課題解決後 …授業の終わりに，友達の意見を聞いて分かったことがあるか，考えていないと感じている。
授業の終わりに新しく分かったことは何かを考えていないと感じている。（ 名） （10名）

はてな（ふしぎだと思うこと）が思い浮かばないと感じている。（14名）

3 目指す子供の姿

【互いに磨き合い、学び続ける子供の姿】

坂出市がどのようなまちかを明らかにするために、社会的事象の見方・考え方を働かせ、地形や土地利用、交通の広がり等に着目して調べる中で、市の様子を捉え、場所による違いについて考えたことを友達と交流しながら市の様子について大まかに理解していく。さらに、他の市や町の特徴について考え続けている。

生活に必要な店や病院等が坂出駅周辺に集まり、周囲には工業地域や住宅地、農地、海や山等場所による違いがある坂出市について明らかにしていく。前単元で作った学校の周りの地図を基に、市全体の地図に知っていることを位置付けることで、部分的にしか知らないことに気づき、市の全体像に関心をもち調べていく。土地利用図を使って空間を広げ、市内の土地は建物、工場、田や畑、緑の多い所に分かれることを捉える。それぞれの場所について、平らな土地や海に面している所、土地の高い所等の地形の様子や道路や鉄道の広がりを捉える。その際、市内に古くから残る建造物の存在を知り、時間を広げ、そのいわれ等を調べる。そして、それぞれの場所の様子を、地形、土地利用、交通という観点で比較したり、バス路線と人々の生活を関連付けたりして、場所による違いを考え、市の全体像を理解していく。例えば、バス路線が坂出駅の周りに集まる理由について、「坂出駅を使うためだと思うよ。坂出駅から他の市や町に行けるよ」「田や畑の多い所に比べ、大きな病院や学校が集まっているから、お年寄りや学生が利用するためじゃないかな」「土地の高い緑の多い所からお年寄りや学生が来て、店や公共施設を利用するためだと思うよ」等と考えを交流しながら、「坂出は電車やバスで移動して、店や公共施設を利用しやすいようになっているから、車のない人にとっても生活しやすいまちなのだね」と市の特徴を明らかにする。さらに、子供の疑問を基に、市の近くにある丸亀市や宇多津町の特徴を捉えようと、全体像を考えていく。

4 単元計画（総時数 8 時間）

市内の様々な場所について追究する際には、前単元で実際に歩いて観察した学校の周りの様子を想起させ、常に比較しながら学習を進める。その後、それぞれの場所から駅に向かう路線バスに着目させ、地図を再度見ながら、市全体の様子を捉え直す展開にすることで、市の様子への関心が高まるようにする。

次	学習の流れ	働きかけ
一	<p>①② 坂出市がどんなまちか、調べる学習の計画を立てよう</p> <p>地図で調べ、市は県のほぼ真ん中で北の方にあることを理解する。そして、市の様子について話し合ったことを地図に整理する。建物、工場、田や畑、緑の多い所の大きな分布を調べ、学習計画を立てる。</p>	<p>前②～⑧【みんなのはな解決ボード】</p> <p>単元を通して学習してきたことと、考えたいことを補助黒板にまとめ、分かっていること、分からないことを確認しながら、課題を共有する。</p>
二	<p>③ 工場の多い所は、どのような様子なのだろう</p> <p>地図等を使って調べ、海に面している所に様々な工場があること、幅の広い道路があること、坂出駅に向かうバス路線があることを理解する。</p> <p>④⑤ 田や畑の多い所、緑の多い所は、どのような様子なのだろう</p> <p>地図等を使って調べ、米や野菜が作られていること、森林が広がっていること、幅の広い道路や駅があること、神谷神社等の古くから残る建造物が点在すること、坂出駅に向かうバス路線があることを理解する。</p>	<p>中③～⑧【坂出くらしマップ】</p> <p>場所ごとの土地利用を示した地図を必要に応じて使い分けられるようにすることで、考えの根拠を明確に示し、互いの考えや根拠を比べながら話し合う。</p>
三	<p>⑥ それぞれの場所を比べよう</p> <p>場所ごとの様子を比較しながら、市の様子について大まかに理解する。</p> <p>⑦ バス路線は、なぜ坂出駅の周りに集まっているのだろう（本時7/8）</p> <p>駅付近に店や公共施設が多く、バス路線が坂出駅に集まることを理解する。</p> <p>⑧ 坂出市はどのようなまちだと言えるだろうか。</p> <p>学習したことを基に、坂出市がどんなまちか、表現する。</p>	<p>後②～⑧【今日のなるほどシート】</p> <p>単元を通して、分かった理由と、次に考えたいこと・したいことの2観点で振り返る。</p>

5 本時の学習

目 標	バス路線が坂出駅に集まっている理由について、市内の場所による違いを考え話し合う活動を通して、駅付近には店や公共施設が多いので、より多くの人利用しやすく便利のように、坂出駅に集まっていることを捉えることができる。
--------	---

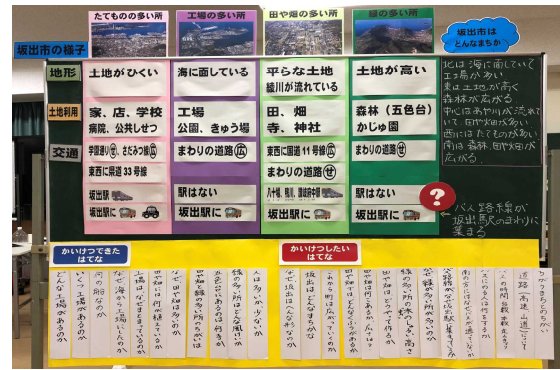
	学習活動	主な子供の意識			
課題設定以前	1 学習課題を確認する。 【みんなのはてな解決ボード】	<p style="text-align: center;">バス路線について考えていくよ。</p> <p>バス路線は坂出市全体にあると思っていたけれど、地図を見ると、坂出駅の周りに集中していたよ。どうしてこうなのだろう。</p>			
	バス路線は、なぜ坂出駅の周りに集まっているのだろう				
課題解決中	2 バス路線が坂出駅の周りに集まっている理由を考え、話し合う。 【坂出くらしマップ】	<p>坂出駅の周りには人が集まるよ。バスを使う人は何の用事で坂出駅の方に来るのか、考えていくといいな。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">職場や学校に行くのに坂出駅を使うためだと思うよ。坂出駅から電車に乗ると、岡山県や他の市や町に行くことができるよ。</td> <td style="width: 33%;">田や畑の多い所に比べ、駅の周りには大きな病院や学校がたくさんあるよ。車に乗れないお年寄りや学生が移動するのに使うと思うよ。</td> <td style="width: 33%;">土地の高い緑の多い所に比べ、駅の周りには、イオンや商店街等の店や、市役所等の公共施設が集まっているからだと思うよ。</td> </tr> </table> <p>そうだね。車に乗れないお年寄りも学生も、バスが走っていると移動しやすくなるね。</p> <p>なるほど。駅の周りには、店や公共施設も多いね。バスで安心して買い物に行けるから便利だね。</p> <p>駅を使う人もいるだろうね。坂出駅は、他の市や町だけでなく、岡山県にも行きやすいね。</p> <p>バス路線を坂出駅の周りに集めることで、より多くの人坂出駅の周りの学校や病院、店や公共施設、駅に行きやすくなるよ。</p> <p style="text-align: center;">みんなで考えたことは合っているのか、資料で確かめてみよう。</p> <p>考えた通り、学生やお年寄りがバスによく乗るんだね。バス路線が坂出駅の周りに集まっているのは、人々にとってより便利にするためなんだね。</p>	職場や学校に行くのに坂出駅を使うためだと思うよ。坂出駅から電車に乗ると、岡山県や他の市や町に行くことができるよ。	田や畑の多い所に比べ、駅の周りには大きな病院や学校がたくさんあるよ。車に乗れないお年寄りや学生が移動するのに使うと思うよ。	土地の高い緑の多い所に比べ、駅の周りには、イオンや商店街等の店や、市役所等の公共施設が集まっているからだと思うよ。
	職場や学校に行くのに坂出駅を使うためだと思うよ。坂出駅から電車に乗ると、岡山県や他の市や町に行くことができるよ。	田や畑の多い所に比べ、駅の周りには大きな病院や学校がたくさんあるよ。車に乗れないお年寄りや学生が移動するのに使うと思うよ。	土地の高い緑の多い所に比べ、駅の周りには、イオンや商店街等の店や、市役所等の公共施設が集まっているからだと思うよ。		
	3 デマンドタクシーについて知る。	<p>でもマップを見ると、バス路線が通っていない地域もあるよ。そこに住む人たちは困ると思うよ。</p> <p>バス路線が通っていない地域に住む人たちのために、駅や市役所に行けるデマンドタクシーがあるんだね。</p> <p>坂出駅の周りに店や公共施設を集めることで、車に乗れない人でも行きやすいね。車に乗れない人にも住みやすい便利なまちになっているのだね。</p>			
	4 本時の学習を振り返る。 【今日のなるほどシート】	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">友達の考えを聞いて、なるほどと思うことがあったよ。</td> <td style="width: 50%;">自分で資料を読んで、なるほどと思うことがあったよ。</td> </tr> <tr> <td>坂出市のことは分かったから、自分の住む〇〇市のことも調べたい。</td> <td>これまで勉強したことを基に、坂出市の特徴についてまとめたいな。</td> </tr> </table>	友達の考えを聞いて、なるほどと思うことがあったよ。	自分で資料を読んで、なるほどと思うことがあったよ。	坂出市のことは分かったから、自分の住む〇〇市のことも調べたい。
友達の考えを聞いて、なるほどと思うことがあったよ。	自分で資料を読んで、なるほどと思うことがあったよ。				
坂出市のことは分かったから、自分の住む〇〇市のことも調べたい。	これまで勉強したことを基に、坂出市の特徴についてまとめたいな。				

評 価	バス路線が坂出駅の周りに集まっている理由について考えたことを友達と交流し、駅付近には市内の他の地域に比べ、生活に必要な施設が集まっていることに気づき、車に乗れない人にも住みやすく便利になっていることを捉えている。 【方法：発言・様相・記述】
--------	--

6 働きかけの詳細

～課題設定以前～ **学習活動1** 【みんなのはてな解決ボード】(②～⑧時間)

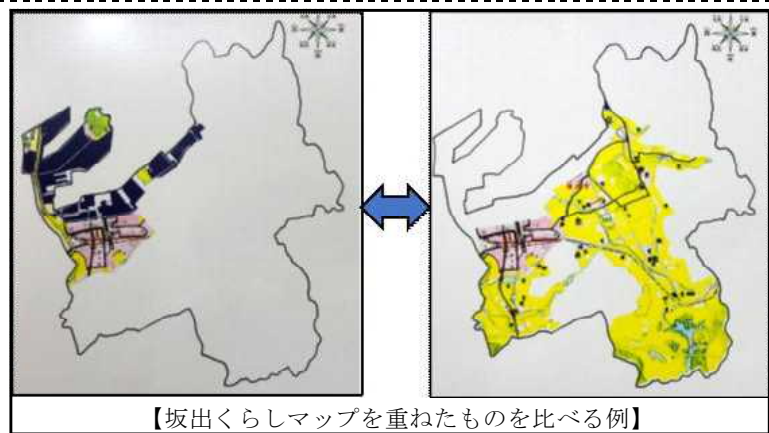
単元を通して学習してきたことと考えたいことを補助黒板にまとめたボードや、既習の資料を使いながら、教師や子供が指し示しながら、分かっていることや分からないことを確認する場を設定する。本時ではまず、「今日考えていくことは何か」と問い、学習課題を確認する。そして、「どうして、それを考えていきたいと思ったの」と問い直すことで、市全体に通っていると思っていたバス路線が、坂出駅の周りにも集中していることが不思議だということを振り返らせる。これらを全体で共有し、本時の課題を設定する。



【みんなのはてな解決ボード】

～課題解決中～ **学習活動2** 【坂出くらしマップ】(③～⑧時間) **学習活動3**

単元を通して分かったことを、場所ごとに1枚のくらしマップ(以下マップと記す)にまとめていく。1枚1枚のマップは透明なシートに印刷しておき、全てのマップを重ねると市全体の様子が分かるようにしておく。マップは、地形、土地利用、交通の様子を、色や地図記号を使って表していく。本時ではまず、バスを使う人は用事があって坂出駅の方



【坂出くらしマップを重ねたものを比べる例】

にやって来ていることを全体で確認する。子供たちは、坂出駅の周りと比べてみたい所のマップを重ねて、バス路線が集中している理由を考えていこう。これにより、友達と自分の考えやその根拠が比べやすくなると考える。班での話し合いでは、マップを使い、順に考えを述べていく。その中で、友達の考えとの共通点や差異点に着目し、納得した点や不明な点について感想や質問、意見を述べていく。こうすることで自分の考えを確かなものにしたり、自分にはない考えについて理解を深めたりしていけると考える。全体での話し合いでは、意見を取り上げながら根拠を示させたり、バスに乗った人の移動を示すペープサートを用いて説明させたりしていく。また、板書にある坂出くらしマップの土地利用の色や、場所ごとに集まっている建物を子供に語らせながら理解を深めていく。話し合いを通して、バス路線が駅の周りに集まることで、バスを使うと生活に必要な施設に移動しやすいまちなっていることに気付くだろう。話し合ったことは、「バスの運転手の人の話」を用いて検証する。その後、バス路線がない地域について目を向けさせ、デマンドタクシーの存在を補説する。路線バスがない地域の車に乗れない人でも移動しやすくなっていることに気付かせていく。

～課題解決後～ **学習活動4** 【今日のなるほどシート】(②～⑧時間)

ノートに分かったことをまとめた後に、分かった理由と、次に考えたいこと・次にしたいことという2つの観点で振り返らせる。まず分かった理由について、自分で考えた場合は「自」に、友達の考えを聞いて分かった場合は「友」に○を付けさせ、自己の学びへの頑張りや、友達との協働の良さに気付けるようにしたい。次に考えたいこと・次にしたいことについては、板書や「はてな解決ボード」を参考に考えたり、友達と相談したりする場を設定する。そして全体場で共有していくことで、

今日のなるほどシート	
3年 ()組 名前()	
※「なるほど」と思えたのはどうしてかな、自分で考えたからかな、友だちの考えを聞いたからかな。 ※はてな・つぎに考えたいこと、つぎにしたいことを書こう。	
なるほどのわけ(○をつける)	
目次	はてな・つぎに考えたいこと、つぎにしたいこと
自・友	

【今日のなるほどシート】

分らないことや不思議なことへの追究意欲を高め、次時への学びにつなげられるようにする。

